

令和元年度

北海道ゼロ・エミ大賞

大賞

受賞事業所	株式会社 北都（代表取締役 山崎 正明） 住所：釧路市川上町 10 丁目 2 番地 電話：0154-22-3353
取組名	未利用資源のトドマツ枝葉を原料とする廃棄物ゼロ プラントの運営 開始時期：平成 22 年（2010 年）11 月 継続期間：9 年（申請時起算）
取組内容	森林に残置していた枝葉（未利用材）を活用し、空気浄化作用のある精油等を生産。既存技術では精油抽出後の残さは水分量が多く産業廃棄物となるが、新技術を用いたことにより、開始時から全量熱利用、2018 年からはゴミ袋等の原材料及び敷料としてマテリアルリサイクルしており、廃棄物の発生をゼロとしている。
選考理由	<ul style="list-style-type: none">・大手企業と連携し、新しい抽出技術を用いたことにより、廃棄物の発生をゼロとした道内では珍しい取組。・リサイクルは出口戦略が重要であるが、当初から近郊に販路を確立しており、更には製品の原材料としてマテリアルリサイクルしている点も、ビジネスモデルとして他企業の模範となる。・また、林業分野全体の課題である林地残材を有効活用している点も評価。

優 秀 賞

受賞事業所	株式会社 北海道スカラップ（代表取締役会長 宮本 直志） 住所：茅部郡鹿部町字宮浜 408 番地 電話：01372-7-5566
取組名	ポイルホタテ貝殻の再資源化による廃棄物発生量削減 の取組み 開始時期：平成 18 年(2006 年)5 月 継続期間：12 年（申請時起算）
取組内容	近郊の水産加工場で野積み放置されていたホタテ貝殻のリサイクル事業（土壌改良剤の製造）を、関係者の要望を受け開始。H27 には「ホタテガイ漁業促進協議会」を立ち上げ、排出事業者と副産物処理の連携を強化。また、リサイクル製品の一部は地域の農場等に販売している。
選考理由	<ul style="list-style-type: none">・地域の課題であったホタテ貝殻を、地元企業が排出事業者と連携し、「ホタテガイ漁業促進協議会」を立ち上げ、解決している点を評価。・以来、12年に渡り、継続してリサイクル事業を行い、廃棄物の排出抑制に貢献している点を評価。

【 問い合わせ 】

〒 060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
北海道環境生活部環境局気候変動対策課民間連携グループ
TEL：011-204-5197（ダイヤルイン）

